

一般質問

5名の議員から一般質問がありました。質問・答弁を抜粋・要約して掲載しました。

主要施設の今後の展望は

総合的施設は検討していない

【藤山 大議員】

当町は、少子高齢化・人口減少に加え、コロナ感染症等により町の活力が低下している中で、各公共施設の老朽化による補修・耐震化など大きな問題を抱えている。

主要施設の次の点についての展望を町長に伺う。

- ・温泉の今後の展望は、建て替えか補修か？
- ・福祉センターの今後の展望は？

・新たな道の駅に関して答申は出ていると思うが、今後の道筋は？

・各施設を統合する総合施設について検討されたか？



藤山 大議員

【鳴海清春町長】

温泉は9月会議後の経済福祉常任委員会でも「方向性」の議論がなされる。その議会の意見を踏まえて、令和3年度から建設に向けた作業を加速したい。

福祉センターは耐震化改修の検討が必要であり、次期総合計画の策定にあたり、新たな道の駅構想と併せて議論を深めたい。

新たな道の駅は「基本計画策定委員会」より答申は受けているが、行政主導でなく、町民が作り上げるものと考えており、それが無ければ構想中止もやむを得ない。

各施設の統合については、公共施設維持保全計画の中では町内会館等の統廃合の検討はあったが、総合的施設については具体的に検討はしていない。

エコバッグの提供と更なるごみ減量化を

新型コロナ対策としてエコバッグを配付

【小鹿昭義議員】

「容器包装リサイクル法」や「家電リサイクル法」の施行に加え、本年7月から全国でプラスチック製買物袋の有料化が始まった。

廃棄物・資源制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化などの課題に対応する動きで、普段何気なく貰っているレジ袋を有料化することで私たちのライフスタイルを見直すきっかけとなることを目的としている。

町として、それらを踏まえた事業として買い物かご或いはエコバッグを町民に提供してはどうか。ごみ減量化の更なる策も併せて伺う。



小鹿 昭義 議員

【鳴海清春町長】

レジ袋有料化に伴う町民へのエコバッグ配付については、新型コロナウイルス感染症防止対策備蓄品を、福島町をイメージしたロゴマーク入りの新たなエコバッグを作成し、配付することとしている。町広報などを活用し、エコバッグの普及率を高めるようなPRを積極的に展開したい。

ごみの減量化については、当町ではごみの搬出量が減少していない状況であり、町広報等でごみ資源化などの周知を図るとともに、集団資源回収によるリサイクルの促進など減量化に努めており、引き続き町内会・福島町ごみ減量化推進委員と連携し、町民の意識改革に向けた取り組みを推進する。

岩部・浦和地区への公衆用トイレ設置 岩部は総合的な構想の中で検討する

【川村明雄議員】

岩部・浦和地区の現在のトイレは、設置の目的からその役割を果たし終えたとの判断は理解できるが、観光的要素が強まっている。

特に、来町者数が顕著な岩部地区は今後の見込みを勘案すると公衆トイレの必要性は必須である。両地区における訪問者の民家や民間企業者へのトイレ借用状況を聞くこと今後の困惑は明らかであり、公衆用トイレ設置の方向で対策を願う。

また、維持管理の参考として、横綱ビーチの清掃協力金の状況を併せて伺う。



川村明雄 議員

【鳴海清春町長】

岩部地区は昭和51年建設（築44年）、浦和地区は昭和54年建設（築41年）で老朽化が激しく今年度解体する。

岩部地区については岩部クルーズの利用者は岩部交流センターのトイレを利用しているが、新たな観光客の入り込みも多くなっており、新たなトイレの必要性は認識している。今後、岩部地区の総合的な構想策定を計画しており、トイレについてもその中で検討する。

浦和地区は新設の考えはない。

横綱ビーチの清掃協力金は、平成29年度26千円、平成30年度41千円、令和元年度55千円となっており、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、開設期間を短縮したこともあり協力金はいらない。

新型コロナウイルスに伴う対応・対策 安心して過ごせる避難所運営に努める

【木村隆議員】

① 新型コロナウイルスに感染した方が保健所の聞き取り調査において、居住地非公表を選択した場合であっても、当町の居住者であるという情報が通達されるか？

② インフルエンザとコロナの同時流行に備えて感染が疑われる患者受診の流れを身近な医療機関に変更すると報道されたが、町立診療所を持つ当町の考えは？

③ 台風10号の上陸で避難所は3密を防ぐため収容人数は半数となった。当町の3密を回避した避難所の運営を伺う。また各世帯の防災備蓄品の点検を啓発してはどうか。

【鳴海清春町長】

① 渡島総合振興局長より患者の住所地となる首長へ連絡が来る。

② 町立診療所は、施設の構造や職員体制などを考えた場合、発熱患者等とその他の患者を分けることは困難であり、検査対応資材の確保が難しいことや院内感染のリスク等から電話による相談受付と診療・検査機関への案内が基本となる。

③ 住民意識の向上は重要であり、備蓄品の確保・点検などの啓発に努める。

避難所では、入り口での消毒やマスク着用、サーモグラフィなどによる検温、簡易テント方式での個室のよゆうな空間を用意し、プライバシーが保たれ、また家族ごとに過ごせるなど、安心して過ごせる運営に努めた。



木村 隆 議員

一般質問



平沼 昌平 議員

令和3年3月末で現行過疎法が失効する。当町は過疎債に依存する事業比重が多く、当町の総合計画事業の在り方、進め方に大きく影響するものと思慮する。

現時点での過疎法の動向或いは、新たな制度に向けた情報をどの程度把握しているのか？

さらに、現行法の最大の利点である借入元利金の7割を国が地方交付税で援助してくれるその割合が崩れることも視野に入れる必要がある。当町の今後の情報収集の在り方、見直しがあった場合の事業の進め方を伺う。

〔平沼昌平議員〕

新過疎法の見込みと見直しがあった場合の対応 見直し時は総合計画の聖域なき削減が必至

〔鳴海清春町長〕

現行過疎法は令和3年3月末で失効するが、国においては過疎対策の検証を行うとともに、検討を進める懇談会からの提言も受けている。

このような状況下で、都道府県をはじめ全国知事会、全国市長会・全国町村会等様々な団体から新たな過疎対策法制定に関する提言・要望などの活動が行われている。当町でも過疎対策事業債は町の振興を推進していくうえで欠くことのできない重要な財源であり、関係機関と連携を図り、情報収集に努めながら要請活動をはじめ必要な取り組みを進めたい。

現行と同様な支援策が叶わない場合は、後期実施計画の大幅な見直しは必至であり、聖域なき削減を図ることで財政の健全化を維持した運営に努めたい。

令和元年度 議会費の使われ方

(単位：千円)

区分	H30	R元	令和元年度の支出概要
報酬	22,556	23,581	・歳費23,521 【月額歳費】議長278、副議長222、委員長201、議員187 ・諮問会議委員報酬60
給料	11,907	10,582	・事務局職員3名分
手当等	15,316	15,726	・議員期末手当9,464 【議長1,407、副議長1,123、委員長(3人)3,051、議員(5人)3,883】 ・職員期末手当等6,262
共済費	15,095	13,370	・議員共済等負担金7,722、職員共済費5,040 ・臨時職員社会保険料等608
賃金	2,068	2,079	・臨時職員賃金(1名)
報償費	100	0	・専門的審査、調査謝金
旅費	1,324	1,207	・普通旅費555 ・視察研修旅費390 ・職員旅費124 ・同行旅費94 ・委員旅費33 ・委員費用弁償11
交際費	219	108	・祝儀14、土産5、後援20、協賛金13、会費51、接待費5
需用費	820	1,005	・消耗品費222 ・追録代13 ・購読料29 ・食糧費5 ・議会だより印刷製本費736
使用料・賃借料	162	163	・インターネットサーバスペース使用料40 ・議会インターネット中継回線利用料123
備品購入費	0	265	・デジタルカメラ、参画者席用マイク ほか
負担金・補助・交付金	1,027	1,006	・管内議長会等360 ・四町議員協議会120 ・議員公務災害補償組合負担金等69 ・政務活動費457
償還金・利子・割引料	4,327	4,324	・議会中継システム譲受代金年賦金1,107 ・議場等音響設備譲受代金年賦金3,217
合計	74,921	73,416	※事務局職員3名分の給料等は「職員給与費」に計上されているため、議会費の決算額とは一致しません。

